

高等学校 芸術科(音楽) シラバス

学習目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

学年	第1・2学年	教科書	高校生の音楽1 (音楽之友社 305)
		副教材	五線ノート・アルトリコーダー・他

学習到達目標

歌唱、器楽、創作の各表現活動と鑑賞活動を通して、我が国及び諸外国の様々な音楽、我が国の伝統や文化の中に生徒達の音楽のよりどころを見いださせる。そのために、文化的・歴史的背景などの広い視野での音楽文化についての理解をさせ、生徒達が音楽に対して多様な観点から主体的にかかわりを持つようにする。また、生涯にわたって音楽への永続的な愛好心を育てていくことを重視させる。

学習方法

歌唱においては、教科書やそれ以外にも幅広い教材を用いて斉唱～混声四部合唱までの歌唱曲に取り組む。器楽においては、各種リコーダー、ギター、鍵盤楽器、打楽器等を用いて多種の楽器演奏や合奏を体験させる。創作においては、旋律の創作と伴奏づけ、編曲等をおこない、楽譜として仕上げるだけでなく実際に音に表現させる。鑑賞では、DVDやCD、教師や生徒各々の実演を通して音楽の美しさを理解させる。我が国の音楽では、箏・三味線・尺八等の和楽器の基礎的な演奏法を身につけ、合奏等を通して伝統音楽の美しさを体験させる。

年間シラバス 2年間の学習予定表 (本校では「音楽I」を2年間で実施します。)

高校1年 (週1時間)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	1. 歌唱 我が国及び諸外国の歌に取り組む。 (「歌唱」については、必要に応じて2学期以降も適時取り扱う。)	1. イタリア歌曲の取り組み。 声楽を学ぶ者にとっての導入曲を通して、文化的・歴史的背景などを基に、曲種に応じた発声を生かし、美しく歌う。 [使用教材] 「O sole mio」(ディ・カープア) 「Caro mio ben」(ジョルダナーニ) 「フニクリ・フニクラ」(デンツァ) 「Ombra mai fu」(ヘンデル) 「カタリ・カタリ」(カルディッロ) 「夢」(トステイ) 他 2. 日本歌曲の取り組み。 我が国の歴史的背景や伝統や文化の理解などと共に、歌詞に応じた発声を用いて美しく歌う。 [使用教材] 「小さな空」(武満徹) 「風の子守歌」(池辺晋一郎) 「待ちぼうけ」(山田耕筰) 「小さい秋みつけた」(中田喜直) 他 3. ポピュラー歌曲の取り組み。 身近なポピュラー、ミュージカル曲等から曲を選び、楽しく美しく歌唱する。 [使用教材] 「I Could Have Danced All Night」(ロウ) 「Tomorrow」(ストラウス) 「ホール・ニュー・ワールド」(メンケン) 「星に願いを」(ハーライン) 「虹の彼方に」(アーレン) 他	実技テスト ノート 授業への取り組み 【評価方法】 1. 実技テスト 歌唱においては、曲種に応じた発声や美しい言葉の表現、曲の仕組みを生かして、曲にふさわしい歌唱表現を身につけているか等を評価する。 器楽においては、曲にふさわしい音色や奏法を感じ取り、それを生かして表現をする技能を身につけているか等を評価する。 2. ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか等を評価する。 3. 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができていくか等を評価する。

	2. 器楽	1. リコーダー アルトリコーダーの独奏曲～二重奏曲に取り 組む。 [使用教材] 「トリスタンの嘆き」(作者不詳) 「愛のあいさつ」(エルガー) 「シチリアーナ」(レスピーギ) 他	
2 学 期	1. 器楽 2. 我が国の伝統音楽	1. ギターを弾こう クラシックギターの基本的な技術を習得し、メ ロディー、伴奏、独奏曲～重奏曲に取り組む。 [使用教材] 教科書、プリント教材 他 1. 我が国の伝統音楽。 箏・三味線・尺八等の和楽器の基礎的な演奏法 の習得。独奏曲、合奏曲の演奏。各地の伝統芸能 の取り組み。 [使用教材] 「ソーラン節」(北海道民謡) 「南部牛追歌」(岩手県民謡) 「こきりこ」(富山県民謡) 「木曾節」(長野県民謡) 「ていんさぐぬ花」(沖縄県民謡) 箏曲「みだれ」(八橋検校) 箏曲「新ざらし」(中能島欣一) 箏曲「六段の調」(八橋検校) 長唄「京鹿子娘道成寺」(3世杵屋正次郎) 長唄「勸進帳」(4世杵屋六三郎) 尺八「鹿の遠音」(作者不詳) 他	実技テスト ノート 授業への取り組み 【評価方法】 1. 実技テスト 曲にふさわしい音色 や奏法を感じ取り、そ れを生かして表現を する技能を身につけ ているか等を評価す る。 2. ノート プリント教材の整理、 学習ノートが作成で きているか等を評価 する。 3. 授業の取り組み 集団行動に参加し、自 己の表現ができてい るか等を評価する。
3 学 期	1. 創作	1. 音階を選んで旋律を創作し、伴奏づけをおこ ない、楽譜として仕上げる。 ・三部形式程度の楽曲の創作。 ・モチーフ、フレーズ、メロディーの理解。 ・主要三和音の理解とその配置。 2. リコーダー、ギター、鍵盤楽器を用いて自分 の創作曲を実際に音に表現させる。	課題制作 実技テスト ノート 授業への取り組み 【評価方法】 1. 課題制作 自己の工夫を取り入 れ、仕上げることが できているか。 2. 実技テスト 自己を表現をする技 能を身につけている か等を評価する。 3. ノート プリント教材の整理、 学習ノートが作成で きているか等を評価 する。 4. 授業の取り組み 集団行動に参加し、自 己の表現ができてい るか等を評価する。

高校2年〈週1時間〉

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学 期	1. 歌唱 我が国及び諸外国の歌に取 り組む。	1. ドイツ歌曲の取り組み。 歴史的に名の知れた音楽家の歌曲を通して、文 化的・歴史的背景などを基に、歌への興味を持た せながら美しく歌う。 [使用教材]	実技テスト ノート 授業への取り組み 【評価方法】 1. 実技テスト

	<p>2. 器楽</p>	<p>「Heidenroslein」(ヴェルナー・シューベルト) 「春への憧れ」(モーツァルト) 「Ich liebe dich」(ベートーヴェン) 「菩提樹」(シューベルト) 「子守唄」(ブラームス) 「歌の翼に」(メンデルスゾーン) 他</p> <p>2. 日本歌曲の取り組み。 我が国の歴史的背景などを基に、伝統や文化の理解として歌詞に応じた発声を用いて美しく歌う。 [使用教材] 「省歌の四季」 「初恋」(越谷達之助) 「平城山」(平井康三郎) 「椰子の実」(大中寅二) 他</p> <p>3. ポピュラー曲の取り組み。 身近なミュージカル曲等から曲を選び、楽しく歌唱する。 [使用教材] 「Tonight」(バーンスタイン) 「美女と野獣」(メンケン) 他</p> <p>1. リコーダー ソプラノ、アルト、テナー、バスの各種リコーダーを用いてリコーダー三重奏～四重奏に取り組む。 [使用教材] 教科書、プリント教材 他</p> <p>2. アンサンブル 各種リコーダー、ギター、鍵盤楽器等を用いて、異種の楽器とのアンサンブルに取り組む。 [使用教材] 教科書、プリント教材 他</p>	<p>歌唱においては、曲種に応じた発声や美しい言葉の表現、曲の仕組みを生かして、曲にふさわしい歌唱表現を身につけているか等を評価する。 器楽においては、曲にふさわしい音色や奏法を感じ取り、それを生かして表現をする技能を身につけているか等を評価する。 2. ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか等を評価する。 3. 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができてきているか等を評価する。</p>
<p>2 学 期</p>	<p>1. 歌唱 我が国及び諸外国の歌に取り組む。</p> <p>2. 我が国の伝統音楽</p>	<p>1. 合唱曲への取り組み。 混声三部～混声四部合唱までの合唱曲に取り組む、声のアンサンブルによる美しさを感じ取りながら歌う。 [使用教材] 「フィンランディア」(シベリウス) 「はるかな友に」(磯部俣) 「So ben mi ch' a bon tempo」(ヴェッキ) 「Mille regrets」(デ・プレ) 「夕焼雲」(山田耕筰) 「春に」(木下牧子) 「火の山の子守歌」(新実徳英) 「喜びの歌」(ベートーヴェン) 「大地讃頌」(佐藤眞) 「河口」(團伊玖磨) 他</p> <p>1. 我が国の伝統音楽への取り組み。 箏・三味線・尺八等の和楽器の演奏法を応用し、独奏曲、合奏曲の演奏。 和楽器を用いて我が国の民謡の演奏。 [使用教材] 教科書、プリント教材 他</p>	<p>課題制作 実技テスト ノート 授業への取り組み 【評価方法】 1. 実技テスト 歌唱においては、曲種に応じた発声や美しい言葉の表現、曲の仕組みを生かして、曲にふさわしい歌唱表現を身につけているか等を評価する。 器楽においては、曲にふさわしい音色や奏法を感じ取り、それを生かして表現をする技能を身につけているか等を評価する。 2. ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか等を評価する。 3. 授業の取り組み</p>

			集団行動に参加し、自己の表現ができているか等を評価する。
3 学期	1. 創作 (「歌唱」について必要に応じて適時取り扱う。)	<p>1. 音階を選び、曲の構成を工夫して旋律を創作し、副次的な旋律づけや伴奏づけをおこない、楽譜として仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三部形式以上の楽曲の創作。 ・ 順次進行、跳躍進行を使い分けたモチーフ、フレーズ、メロディーの創作。 ・ 様々な和音の理解とその配置。 ・ 終止形の工夫。 等 <p>2. 曲に変奏づけ、編曲を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律に装飾を加える。 ・ 伴奏の形を変える。 ・ 調や拍子を変える。 等 <p>3. リコーダー、ギター、鍵盤楽器を用いて自分の創作曲を実際に音に表現させる。</p>	<p>実技テスト ノート 授業への取り組み</p> <p>【評価方法】</p> <p>1. 課題制作 自己の工夫を取り入れ、仕上げるができてきているか。</p> <p>2. 実技テスト 自己を表現をする技能を身につけているか等を評価する。</p> <p>3. ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか等を評価する。</p> <p>4. 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができているか等を評価する。</p>